

「放射性廃棄物最終処分場建設計画に反対する大崎の会」

結成総会のご案内

「候補地」の運動に大崎からも連帯し、計画を止めよう！

■とき 4月26日(日) 13:30~15:30

■ところ 古川商工会議所・研修室

1部 記念講演 大沼淳一 氏(原子力市民委員会委員)

「放射能汚染廃棄物をどのように処分すべきか」

2部 結成総会 規約・事業計画・役員決定



【講師紹介】大沼淳一氏

原子力市民委員会委員。元愛知県環境調査センター主任研究員、中部大学非常勤講師。市民放射能測定センター運営委員、高木基金顧問。

結成の呼びかけ（案）一部抜粋

福島原発の事故によって各地に飛散した放射性廃棄物の最終処分場建設の候補地として、宮城県内では栗原市深山嶽地区、加美町田代岳地区、大和町下原地区が選定されました。

3候補地とも、水源地であり地盤も不安定であり、候補地には不適當など、多くの批判があり、住民合意は得られていません。放射性廃棄物の処分作業は急ぐべきですが、不適當な事業の強行は将来に重大な禍根を残します。

大崎市は3候補地に隣接し、水系も上流・下流と重なり、日常的な交流があります。したがって最終処分場建設計画は決して余所事ではありません。大崎地域の住民がこの問題に効果的に対処することが求められています。そこで、「選定された3カ所の候補地への指定廃棄物最終処分場建設計画に反対する」の一致点で、標記の団体を発足させることを呼びかけます。

呼びかけ人

近江寿（大崎健康福祉友の会会長） 小畑茂（大崎地方労働組合連合委員長） 鹿野文永（元鹿島台町長）
小松泉（古川民主商工会会長） 斉藤重美（元宮城教職員組合委員長） 只埜齊（大崎健康福祉友の会事務局長）
中嶋信（徳島大学名誉教授） 松浦洋子（古川母親連絡会会長）

連絡先：中嶋 信 〒989-6164 宮城県大崎市古川荒川小金町 3-10

e-mail : ma-nakajima@mvd.biglobe.ne.jp Tel/Fax: 0229-47-4494